

# かわいい子には たびをさせよ

まほと あおいは、大のなかよし。

「二人でりようをしたいね。」

なんて、はなして います。それを きいて、ま

ほの おかあさんが いました。

「まだ 一年生だから、りようは おりだけど、

スイミングスクールに 二人で いった、か

えって くるって いうのは、どう？」

「『かわいい子には たびを させよ』と い

うしね。」

と、あおいの おかあさんも さんせいしました。

「かわいい子には たびを させよ」とは、

子どもを 本とうに かわいいと おもうならば、

あまやかさないで、くろうを させた ほうが

① まほと あおいは、二人で  
なにを したいと はなして  
いましたか。

② まほと あおいに、おかあ  
さんたちが すすめたのは、  
どんな ことですか。( ) に  
あう ことばを かきましょ  
う。

に 二人で いく こと。

よいと いう いみの ことわざです。いまと  
ちがって、むかしは 車くるまも でん車しゃも なく、た  
びを するのは 大たいへんで あった ことから、  
この ことわざが 生うまれました。

こうして まほと あおいは、  
二人ふたりで スイミングスクールの  
バスに のって 出でかけ、そし  
て かえって くるように な  
りました。



「おもったより、たいへんだよ。バスに まにあ  
うように したくしなきや いけないからね。」  
まほと あおいは、口くちを とがらせて います。  
「わがままも いうけれど、二人ふたりとも まえより  
も しっかりして きたみたいね。」  
二人ふたりの おかあさんは、にっこりしました。

③ 「かわいい 子こには たび

を させよ」とは、どんな  
いみですか。あう ほうに  
○を つけましょう。

ア かわいい 子こは、あまや  
かした ほうが よい。

イ かわいい 子こには、くろ  
うを させた ほうが よ  
い。

④ むかしの 人ひとに とって、

たびは どんな ことでした  
か。あう ほうに ○を つ  
けましょう。

ア 大たいへんな こと。  
イ かんたんな こと。

## カンガルーの

## 赤ちゃん

オーストラリアには、めずらしい どうぶつが  
たくさん います。カンガルーも、その 一つで  
す。カンガルーは、めすの おなかに ふくろが  
ある どうぶつです。

人間<sup>にんげん</sup>や ねこや 犬<sup>いぬ</sup>の 赤ちゃん<sup>あか</sup>は、おかあさ  
んの おなかの 中<sup>なか</sup>で、おやに にた すがたに  
なるまで そだってから 生まれて きます。で  
も、カンガルーは ちがいます。カンガルーの  
赤ちゃん<sup>あか</sup>は、二センチメートルくらいの 大きき  
で 生まれて きます。その ときの おもさは  
一円玉<sup>いちえんだま</sup>くらいしか なくて、かたちは おやに  
まったく にて いません。まだ けも 生<sup>は</sup>えて  
いません。目<sup>め</sup>も あいて いませんが、じぶんの

読んだ日

月

日

① カンガルーの めすの お  
なかには、なにが あります  
か。

② おやに まったく にて  
いない すがたで 生まれて  
くる どうぶつは、どれです  
か。一つに ○を つけま  
しょう。

ア ねこ  
イ 犬  
ウ カンガルー

カ<sup>ちから</sup>で おかあさんの からだを よじのぼって、  
ふくろの 中<sup>なか</sup>に 入<sup>はい</sup>ります。そこには おっぱい  
が 四<sup>よっ</sup>つ あり、赤<sup>あか</sup>ちゃんは おちちを のみは  
じめます。

カンガルーの 赤<sup>あか</sup>ちゃんは、大<sup>おお</sup>きく なるに  
つれて、ときどき ふくろから そのの せかい  
を のぞいたり、ふくろ  
を 出<sup>で</sup>て、また ふくろ  
に もどったり するよ  
うに なります。ふくろ  
の 中<sup>なか</sup>で 八<sup>はち</sup>か月<sup>げつ</sup>くらい  
の あいだ くらした  
あと、もう、ふくろには  
もどらなく なるのです。



③ 生<sup>う</sup>まれたばかりの カンガ  
ルーの 赤<sup>あか</sup>ちゃんは、どのく  
らいの おもさですか。



④ 大<sup>おお</sup>きく なって いくカ  
ンガルーの 赤<sup>あか</sup>ちゃんにつ  
いて、正<sup>ただ</sup>しい 文<sup>ぶん</sup>は どれで  
すか。一<sup>ひと</sup>つに ○を つけま  
しょう。

ア ずっと ふくろの 中<sup>なか</sup>に  
入<sup>はい</sup>ったままだ。

イ ときどき、ふくろから  
そとを のぞく。

ウ 一<sup>いっ</sup>回<sup>かい</sup> そとに 出<sup>で</sup>ると、  
ふくろには もどらない。